

# 学校だより 石薬師 (いしゃくし)

鈴鹿市立石薬師小学校

Tel 374-1028 Fax 374-1057

令和7年3月13日 第24号

石薬師小

Q 検索

## 避難訓練～かならず大きな揺れが来る～

2011年3月11日、「東日本大震災」から14年が経ちました。1995年に発生した「阪神淡路大震災」からは今年で30年の節目の年でした。ご存じの通り、日本は世界有数の地震国、小さな地震なら毎日のように日本のどこかで発生しています。

これまでこの学校だよりを通じて、防災連載として、三重県がいかに地震の少ない県だということ、逆にそれだけ大きな危険が潜んでいるかもしれないことを掲載してきました。



石薬師小学校では、年間3回の避難訓練を実施していますが、今年度3回目の訓練を、3月11日に行いました。事前に防災学習も行い、今回は業間休みに地震が発生した想定だったので、子どもたちはそれぞれ自分のいる場所で実際に大きな揺れを感じたらどうすればいいのか、考えてくれたのではないのでしょうか。今回は雨のため、体育館に避難する想定となりましたが、みんな静かに体育館に集まることができました。

これまでにもお伝えしたとおり、学校にいるときは私たち教職員が避難誘導を行い、場合によっては保護者への引き渡しを行うこととしています。しかし、そうでないとき、例えば登下校中ならどうするか、改めて確認しておいてほしいと思います。以下に、以前掲載した記事を載せておきます。

地震はいつ起こるかわかりません。登下校中に大きな揺れがおそってきたらどうすればいいか、子どもたち自身も知っておかないといけません。具体的には、車が来ていないかなど、前後左右、上下を含め安全確認をして、壁や電信柱など高い建造物の反対側の広い場所へ逃げましょう。揺れを感じた時、本能的に高い壁などに手をつきたくなりますが、「倒壊のおそれがあるため、絶対に手はつかない」というのが鉄則です。倒れるかもしれない物（ブロック塀や電柱など）に加えて、落ちてくるかもしれない物（窓ガラスや電線、看板など）から離れましょう。そして、ランドセルなどで頭部を保護し、身を低くします。ハンドルを取られた車が突っ込んでくる場合があるので、車道には出てはいけません。これらの内容について、学校でも話しますが、お家でも確認しておくことが大切だと思いますので、ぜひお願いします。

まずは自分の身を守ることが大切です。突然の大きな揺れには、どうしてもパニックになりやすいと思いますが、できるだけ早く落ち着いて次の行動ができるよう、地震はいつでもやってくるということを覚えておいてください。大きな揺れを感じたときに、「えっ、なになに！」ではなく、「あ、とうとう来たぞ！」と思えるようにしたいものです。

復興庁によりますと、東日本大震災から14年たった今でも避難者は2万人を超えています。今でも津波が襲った地域には、建物が何も



ない場所がたくさんあります。写真は、南三陸町役場の跡です。周りにあった建物は、すべて流されてしまい、がれきが撤去されたあとは今でも何もなく、役場の鉄骨だけが残されています。

今後発生が予想されている「南海トラフ巨大地震」の被害想定は、最悪の場合で死者32万人、三重県では4万人以上となっています。これは、東日本大震災を大きく上回る数字です。しかし、この数字は、防災意識が高ければ高いほど減らせるといわれています。石薬師地区は、津波の心配はないものの、建物の倒壊や土砂災害は十分に考えられます。今一度、防災グッズや避難場所の確認をし、来るべき時に備えたいものですね。



## 6年生ありがとう！

3月7日、卒業間近の6年生が、グラウンド整備をしてくれました。山盛りだった土を、一輪車でグラウンドに運び、きれいにならしてくれました。

雨が降ると水たまりができていたところを中心に土を入れてくれたので、雨上がりもずいぶん使いやすくなったと思います。

今回は、6年間過ごした小学校への奉仕作業として取り組んでもらいました。ありがとうございました。



## 写真ニュース寄贈していただきました



(株)ケーエムケー様より、昨年に引き続き「朝日写真ニュース」を寄贈していただきました。ありがとうございます。

北館の昇降口に掲示してあり、毎週送られてくる4枚の写真記事を貼り変えていますので、子どもたちにも興味をもってもらえればと思います。

最近は新聞を読む経験が少なくなっていますので、少しでもニュースに触れて、豊かな感性を身につけられるといいですね。



学校だより第22号に掲載しておりました3月行事予定に間違いがありました。18日(水)朗唱とありますが、今年度の朝の朗唱は、11日(水)が最後でしたので、18日は行いません。

いそがしやん。

